

柳生

芳徳禅寺・柳生藩陣屋跡等の文化遺産や滝坂の道等が点在し、「柳生の里」を形成している地区

整備のコンセプト:

周辺資源を活かした”柳生の里”の魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- ・白砂川は自然景観に恵まれているが、水に親しむスペースが確保されていない。
- ・一部の荒れた竹林や露出した山肌、耕作放棄地等が田園風景を阻害している。

課題解決への主な対応

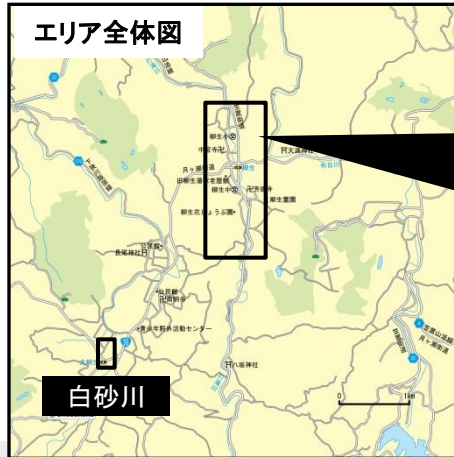
- ・白砂川の活用による水に親しむ空間の創出
- ・竹林伐採と彩り植栽・雑草の除去等の適正管理
- ・視点場の整備
- ・耕作放棄地における田園風景の再生

【今後の連携方策】 一部、民地の植栽管理が望ましい箇所もあることから、地域住民と一体となった植栽景観の向上に向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



十兵衛杉から北への眺望



エリア全体図

白砂川

□白砂川

平面図 イメージ図

短期 白砂川沿いに桜の植樹を充実させ、彩りのある景観づくりおよび親水空間づくりを図る

現況写真



整備イメージ



白砂川

□柳生集落

長期 打滝川沿いにおいては、桜の植樹を充実することにより線的景観を形成することが望まれる

長期 耕作放棄地では、営農の再開、田畑への水張り、また景観作物の植栽等を行い、田園風景の再生を図る

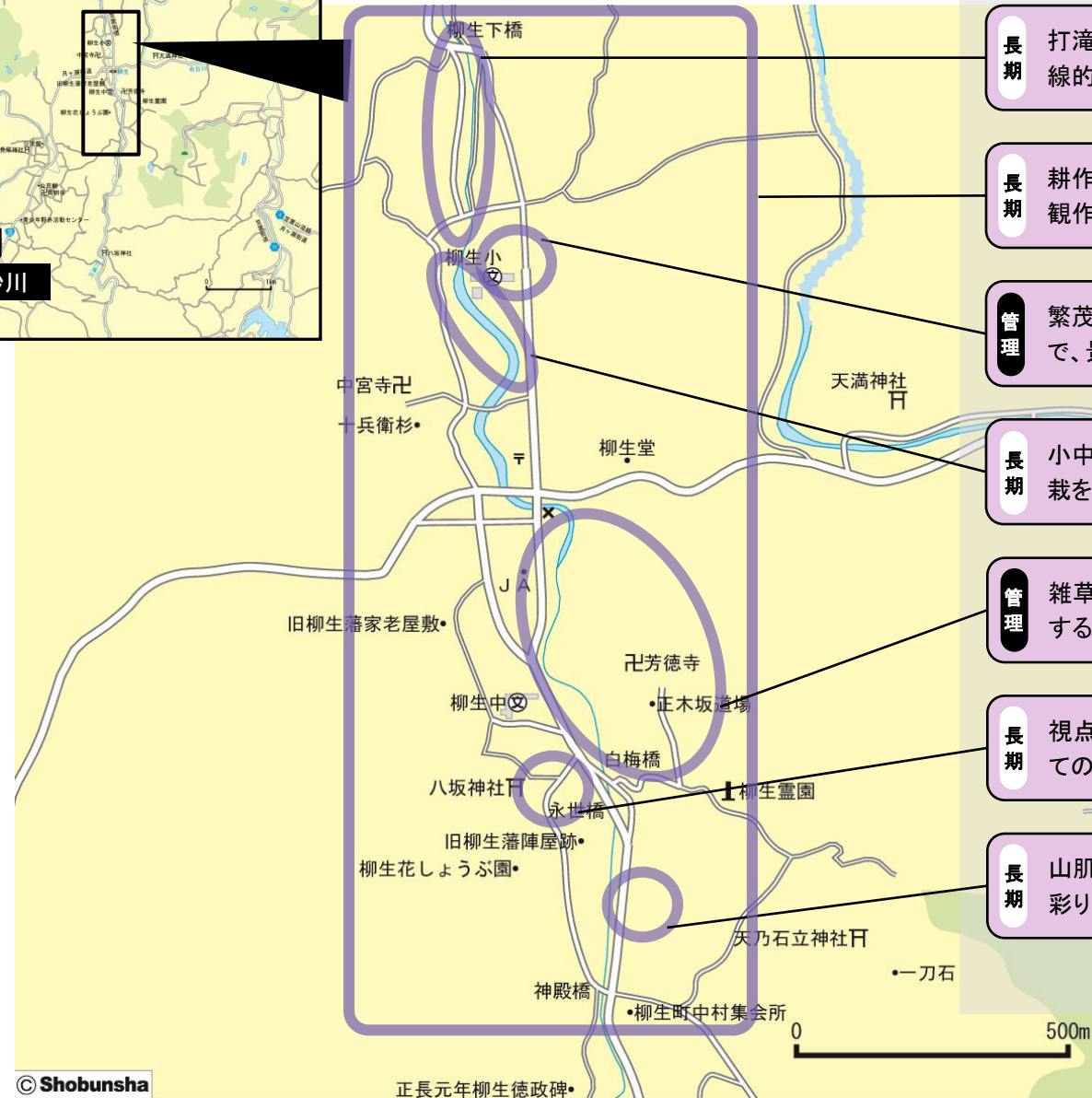
管理 繁茂する竹林の伐採を行い、里山への広がりを防ぐことで、景観の確保を図る

長期 小中学校の建築物(校舎)の圧迫感を緩和するような植栽を行うなど、彩りのある景観づくりが望まれる

管理 雑草の除去や支障木を伐採することにより、眺望を確保することが望ましい

長期 視点場として活用できる場所があるため、休憩施設としての利用が望まれる

長期 山肌が露出している箇所があるため、植樹を行うなど、彩りのある景観づくりが望まれる



© Shobunsha

正長元年柳生徳政碑